

東海地震について

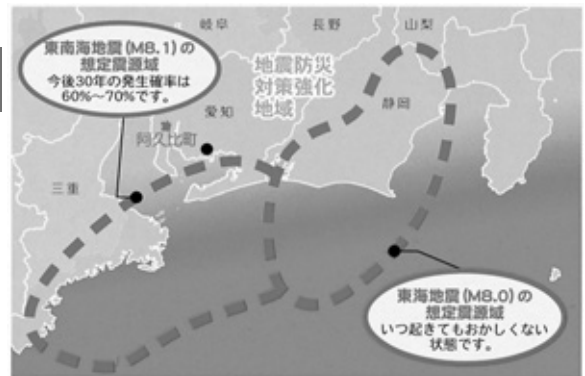
日本列島の太平洋側では、プレートの潜り込みによる地震が繰り返し起こっています。過去には、東海から南海道にかけての海域では、100年から150年周期で、大地震がくり返し起こっています。ところが、東海地震の震源となる駿河湾から御前崎沖では、1854年の安政東海地震の後、約150年にわたって大地震が起きていません。このため地震のエネルギーが蓄積され、プレートの歪みが限界に達していると推定され、いつ大規模な地震が発生してもおかしくない状況です。

東南海地震について

東南海地震は、遠州灘西部から紀伊半島までの地域とその周辺地域の南海トラフの東側で発生する地震で、今後30年以内の発生確率は60～70%といわれております。また東海地震と同時発生の可能性があり、その場合はそれぞれの地震単独よりも大きな被害が発生すると予測されます。

東海地震の震源域と地震防災対策強化地域

阿久比町は、東海地震が発生した場合に著しい地震被害が生じる恐れがあるため、地震防災対策を強化する必要がある地域と指定されています。



強化地域とは

震度6弱以上の揺れが予想される地域。20分以内に高い津波（沿岸で3m以上、地上で2m以上）が来襲する地域。

東海地震の警戒宣言とは

東海地震に関連する調査情報 (カラーレベル 青)

東海地震に関連する現象について調査が行われた場合に発表される情報

東海地震注意情報 (カラーレベル 黄)

観測された現象が東海地震の前兆現象である可能性が高まった場合に発表される情報

警戒宣言

東海地震予知情報 (カラーレベル 赤)

東海地震が発生するおそれがあると認められ、「警戒宣言」が発表された場合に発表される情報

情報を分かりやすくするために補足する言葉として、各情報に「カラーレベル 青」、「カラーレベル 黄」、「カラーレベル 赤」の文字が記載されます。

阿久比町の地震の揺れ

阿久比町では、東海地震と東南海地震が連動して発生した場合、最大で震度6強の強い揺れが予想されます。こうした強い揺れは以下の通りです。

震度5弱

大半の人が恐怖を覚え、物につかまらなりたいと感じます。棚にある食器類や本が落ちることがあります。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがあります。



震度5強

物につかまらなれないと歩くことが難しくなります。棚にある食器類や本で落ちるものが多くなります。固定していない家具が倒れることがあります。補強されていないブロック塀が崩れることがあります。



震度6弱

立っていることが困難になります。壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがあります。固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもあります。ドアが開かなくなることがあります。耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがあります。倒れるものもあります。



震度6強

はわないと動くことができなくなります。飛ばされることもあります。固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなります。耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが多くなります。大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがあります。



震度7

耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものがさらに多くなります。耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがあります。耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが多くなります。

